

春号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所

連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17

TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

- (1) 日時：令和8年4月19日(日)10:00～12:00
 場所：21世紀記念公園とんがりふれあい館ホール
 定員：20名(抽選)
 内容：樹木観察会とけいカツミ講習会
 受講料：1,500円
 募集期間：4月1日(水)～4月8日(水)
- (2) 日時：令和8年7月12日(日)10:00～12:00
 場所：21世紀記念公園とんがりふれあい館ホール
 定員：20名(抽選)
 内容：テラリウム作り
 受講料：1,100円
 募集期間：6月3日(水)～6月12日(金)

* 窓口、電話、メール、FAXで受付します

【みどり講習会】* 受講料無料、予約不要

- 場所：とんがりふれあい館ホール
 対象：記念樹交付申請者及び希望者
- 日時：令和8年4月26日(日)10:00～12:00
 内容：樹木の植え方、水やり
- 日時：令和8年5月24日(日)10:00～12:00
 内容：庭造りのポイント
- 日時：令和8年6月28日(日)10:00～12:00
 内容：夏の手入れ方法
- * 樹木医による園芸に関する講座です。

早くも百花繚乱という言葉が表す季節となりました。梅の花が散る前には桜の蕾がふくらみ桃の蕾も雨をいただき追うように進んできました。地面に目を移せばショウジョウバカマやカタクリが開花してきました。これからの季節は植物の変化を一番感じられるかもしれませんね。

今年の冬は降雪量が少なく乾燥が続くそして最低気温も郡山市内では相当冷え込むときも多々ありました。その厳しい季節を乗り越えて植物は私たちに季節の変化と素晴らしさを教えてくれているように感じます。写真はニオイトサミズキです。



My ガーデニング・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

水やりはこの頃の雨によってようやく楽になりました。今年の冬の間は乾燥も激しくいらい冬とはいえ植物も大変でした。特に植え替えられて時間の立たない場合は遠くまで根が伸びていない状態なのでひどい場合は枯れてしまうこともあります。この時季の植物は芽を膨らませるために多くの水分を必要とします。特に鉢植えの場合は土の乾燥状態を確認して水やりを行います。開花時期以外ならば樹冠全体に水をかけてあげます。

【植替え】

常緑広葉樹は今年の芽が伸びる前までが適期になります。ツバキやサザンカなどの年中葉がついている

植物は芽が伸びてから植替えを行うと弱ってしまいます。梅雨の時期まで待って行います。落葉樹は芽が開くまでが適期となります。針葉樹も芽が伸び始めるまでが適期です。その時期を逃した場合は次の適期まで待つほうが無難です。但し鉢植えの場合は時期の制約は受けにくく植替えを行うことができます。

【肥料】

冬の間油粕などの寒肥はあげましたか？もしまだなら発酵済みの油粕を早くあげてみてください。これからの成長には大切な肥料成分となります。樹木は特にゆっくり肥効が続く緩効性肥料が向いています。野菜などに使う高度化成肥料などはかえって根を痛め逆効果になる場合があります。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。

これから暖かくなってくると害虫が出てきますし病原菌も繁殖しますので大変になってきます。

* アブラムシ類

多くの植物にそして年に数回発生する害虫です。春先には特に軟らかい新芽の所に発生しています。そこから樹液を吸汁して成長を妨げます。カイデ類などで特に被害が目立ちます。

* カイガラムシ類

アブラムシ同様に多くの植物に発生します。果樹類やサザンカ、サルスベリなど。種類も多く外見も様々です。発生すると植物は弱ってしまいます。またアブラムシ、カイガラムシが発生するとその後すす病が発生します。

* イモムシ類、毛虫類

蝶や蛾の幼虫で多くの種類が存在し多くの植物に発生し被害が及びます。その種類によってはヒトがひどい痒みなどの被害を受けることもあります。抜け殻などでもそのような症状出ます。

* カミキリムシ、キクイムシ類

これも多くの種類が存在し被害によっては枯れてしまうこともあります。

この他にも多くの害虫は存在します。発生時期や被害を受けやすい植物はその害虫によって決まってきます。害虫に対しては予防効果のある薬剤は限られています。早めに見つけ対処するようにします。

* うどんこ病

多くの植物に発生します。この病気も発生時期は年に 2 回ほどあります。

この他にも多くの病気は発生し、それによっては枯れてしまうことや対処できない病気も存在します。普段から健全に丈夫に育てることが大事になります。それには陽当たりや風通しの良い環境も大事になります。

家庭で育てている植物の場合には農薬登録された薬剤散布で防ぎます。

【剪定】

これからは常緑広葉樹の剪定に適しています。ツバキやサザンカなどは開花後に行います。キンモクセイなどもこの早い時季に行くと秋には花を楽しめます。ツツジ類は開花後に花柄を摘んだり刈り込み剪定を行い実がつかないようにすることが大事です。シャクナゲ類も花柄をそのままにしておきますと結実して弱ってしまいます。ポタンなども同じようにします。樹形を楽しむツゲやモッコクなどもこれからの時期に剪定を行います。針葉樹のキャラボクやヒバなどのコニファー類もこれからの適期となります。刈り込んで剪定を行う場合でもまずは枯れ枝を取り除き次に混みすぎた枝を整理してその後全体を形を整えます。外側だけを切って整えるより内側の枝なども整理することによって見違えるようになりますよ。庭木は幹そしてそこから延びる枝が見えることによって観賞価値が上がります。ただやみくもにノコギリなどを使って切ってしまうのではなくひと手間をかけることが大事です。

マツ類はゴールデンウィーク頃に今年伸びた芽を摘んであげると形を維持することができます。松は剪定が大変というわけではありません。みどり摘みをしておくだけでも十分に観賞価値は上がります。

落葉樹はこれからは弱い剪定で済ませます。切りすぎると弱ってしまったりします。

どのような樹種も普段から剪定を行っておくと切られる枝葉も少なく済むので処分が楽になります。ごみの減量化にもなります。

この時季の草花 オステオスペルマム